

特記仕様書

上小鳥国有林ほか 森林環境保全整備事業 飛騨7

※刈幅(植幅)・置幅(残し幅)は水平距離表示であるので、傾斜角がある場合、実距離(斜距離)に換算した値とする。

※「全刈又は筋刈地拵(刈払)」もしくは「筋置地拵(枝条整理)」の仕様を適用する場合は、備考欄にその旨を記載する。

特記仕様書

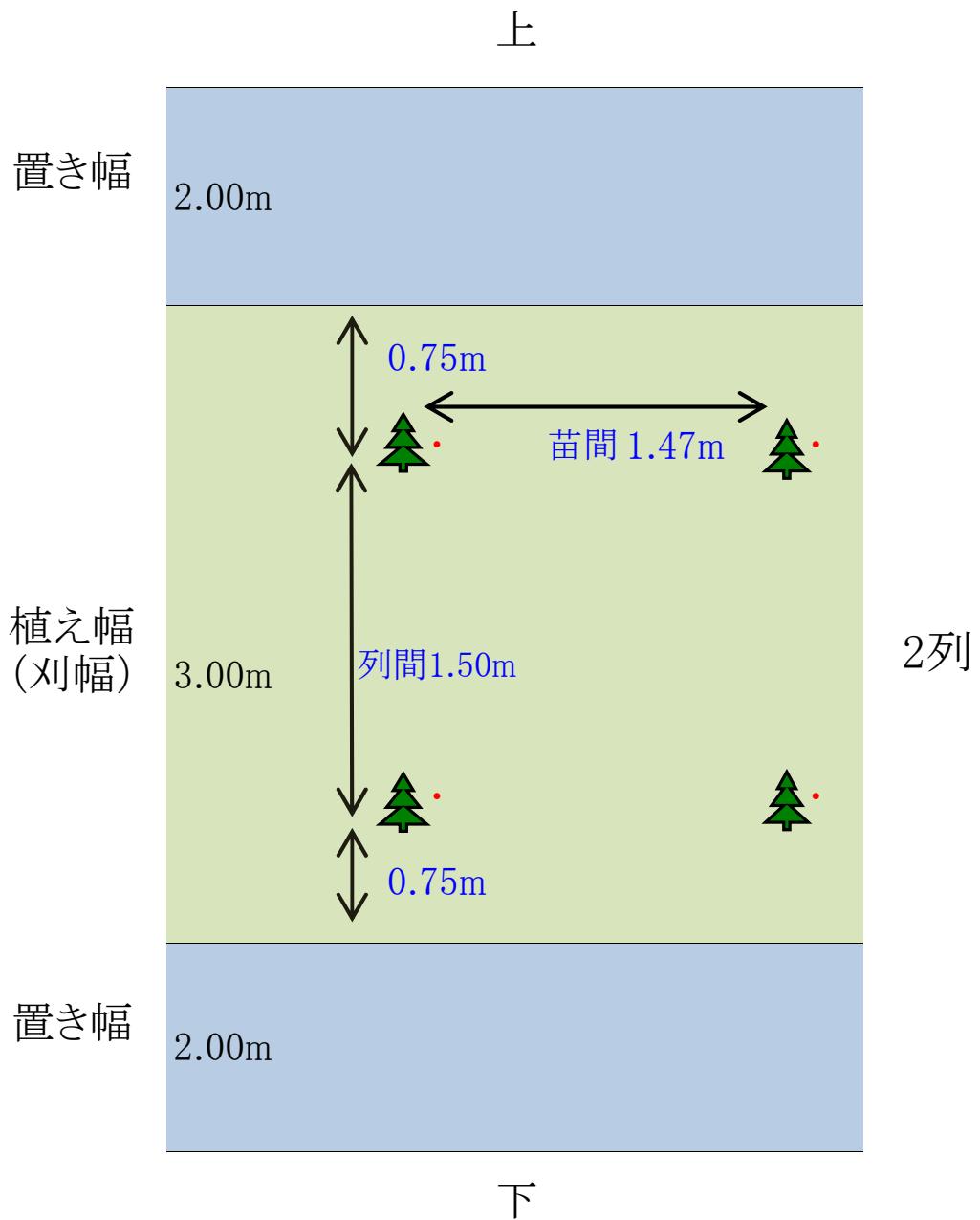
上小鳥国有林ほか 森林環境保全整備事業 飛騨7

※補植作業の場合は、既往の植栽木のうち『枯損・著しい芯枯れ』等、将来にわたって成林の見込みのない枯損木を抜き取りその位置に植える。ただし、その位置が植付に適さない場合は、枯損木を抜き取らずに隣接する箇所に植えることとする。なお、抜き取った枯損木はその場に存置すること。

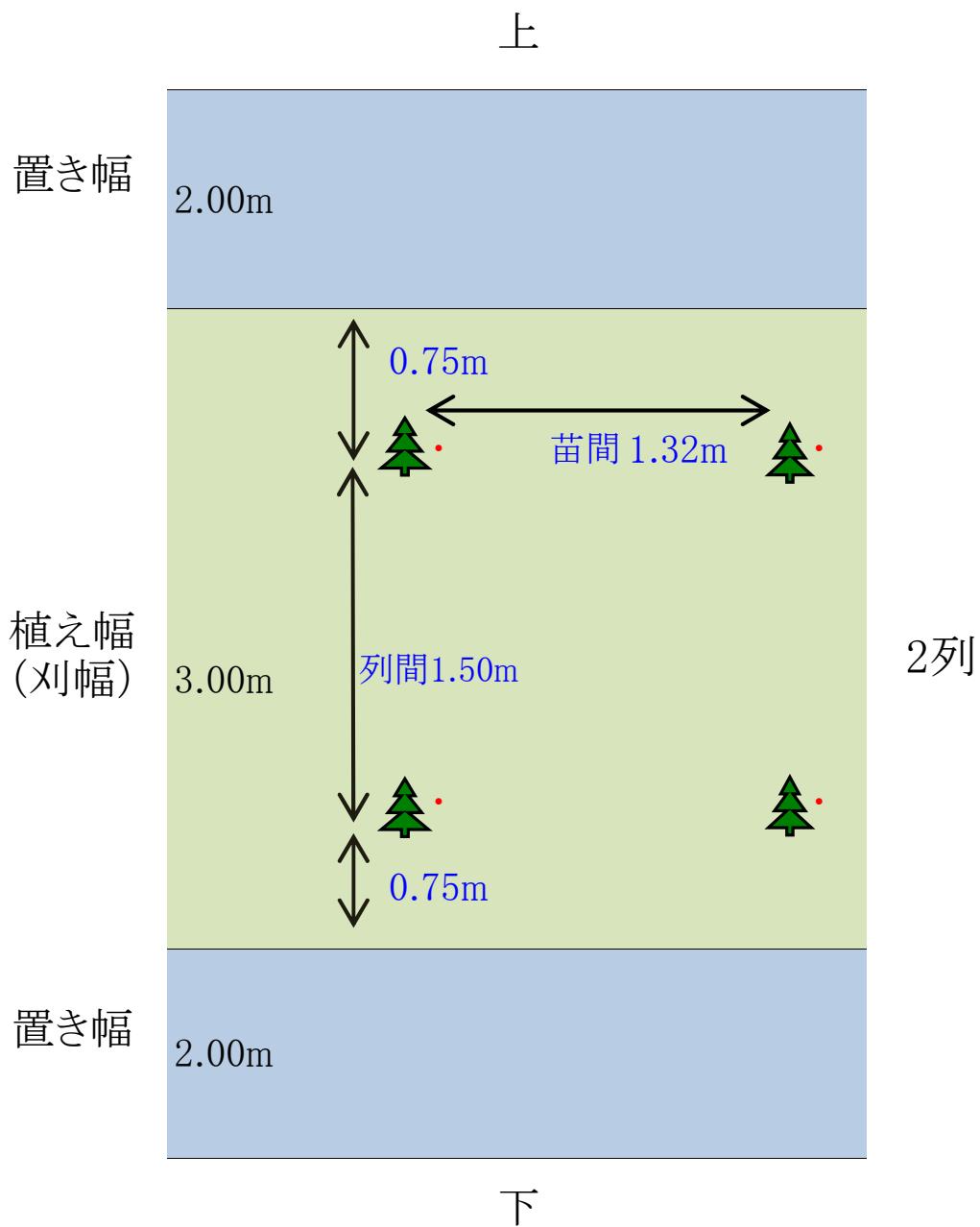
※広葉樹の植栽木は、赤テープ付ける等して表示すること。

# 植付標準間隔図

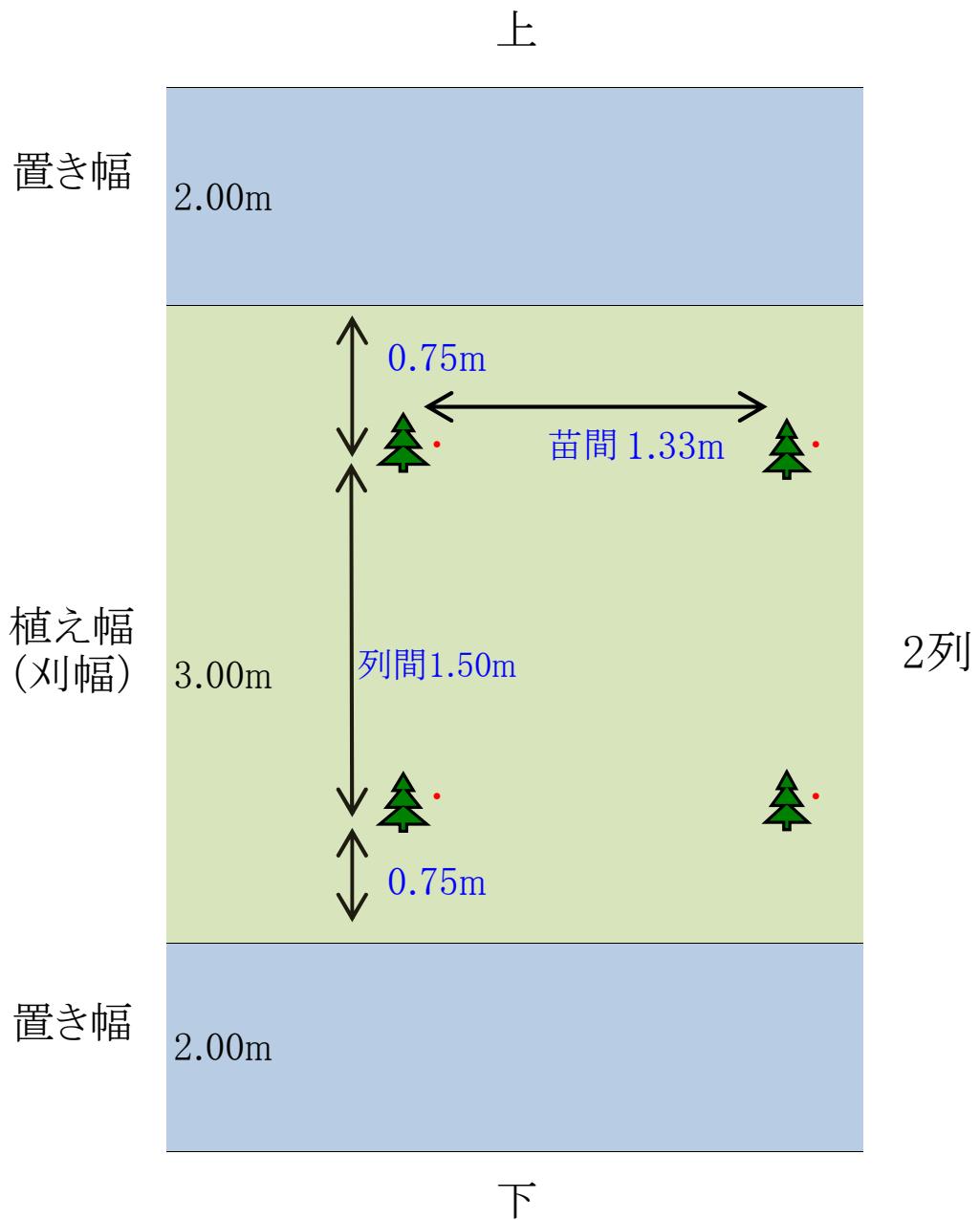
## 池本山国有林3046へ林小班



# 植付標準間隔図 大谷国有林3065く林小班

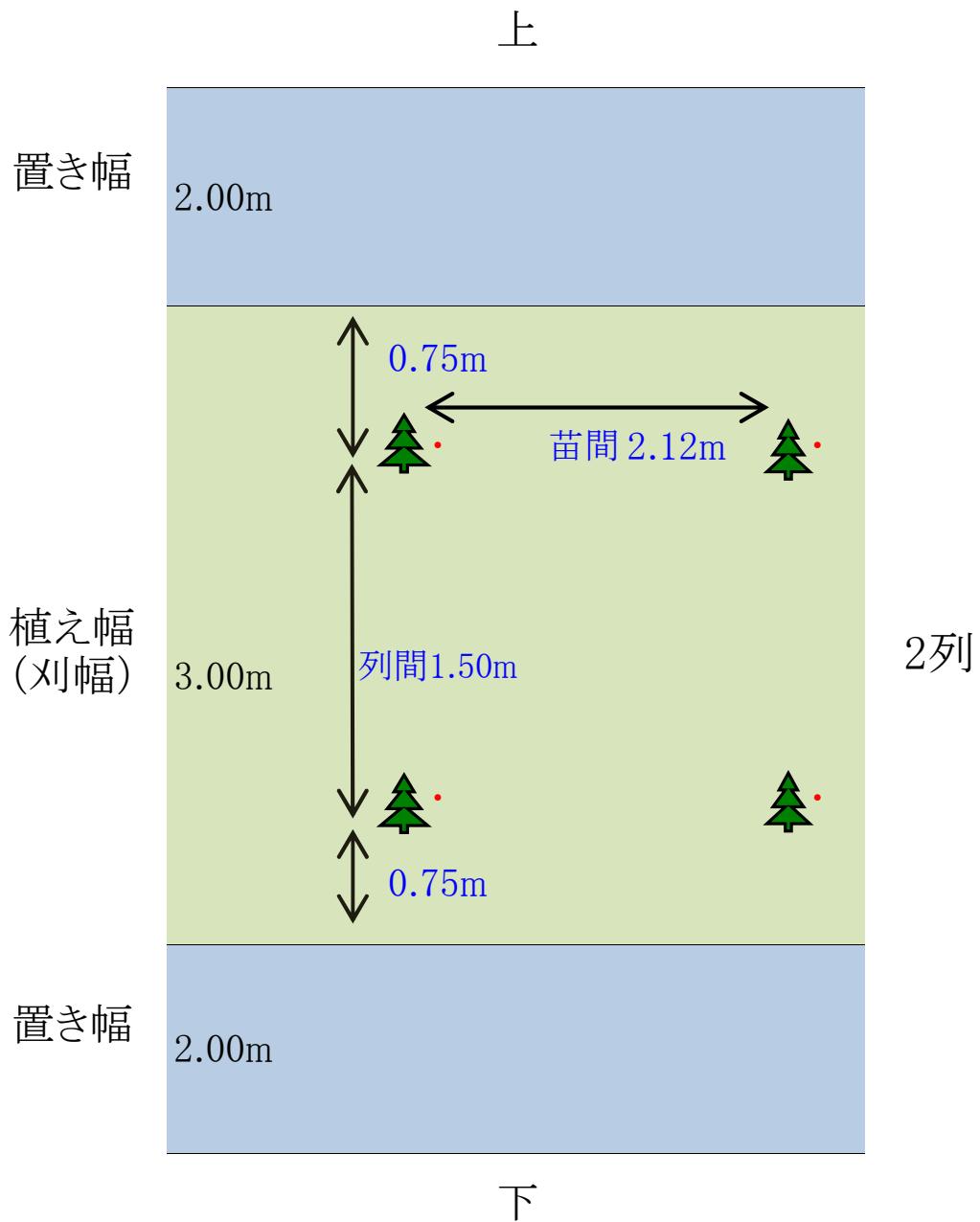


# 植付標準間隔図 大谷国有林3065や林小班



# 植付標準間隔図

## 大谷国有林3069る①林小班



## 特記仕様書

上小鳥国有林ほか 森林環境保全整備事業 飛騨7

※刈幅の距離は水平距離表示であるので、傾斜角がある場合は実際の距離(斜距離)に直した距離とする。

## 特記仕様書

土小鳥国有林ほか 森林環境保全整備事業 飛騨7

作業種	適用林小班	数量 (kg・ℓ)	種別	希釈倍数	仕様				
					時期	区分	筋		歩道
							散布幅	無散布幅	
忌避剤塗布(散布)	上小鳥3014～	54.0 ℓ	ジラム水和剤	4	春期	全木			
忌避剤塗布(散布)	池本山3043る	65.0 ℓ	ジラム水和剤	4	春期	全木			
忌避剤塗布(散布)	池本山3043わ	48.0 ℓ	ジラム水和剤	4	春期	全木			
忌避剤塗布(散布)	池本山3046～	40.0 ℓ	ジラム水和剤	4	春期	全木			
忌避剤塗布(散布)	大谷3065く	37.0 ℓ	ジラム水和剤	4	春期	全木			
忌避剤塗布(散布)	大谷3065や	17.0 ℓ	ジラム水和剤	4	春期	全木			
忌避剤塗布(散布)	大谷3069よ	9.0 ℓ	ジラム水和剤	4	春期	全木			
忌避剤塗布(散布)	大谷3069る①	4.0 ℓ	ジラム水和剤	4	春期	全木			
忌避剤塗布(散布)	大谷3069た	79.0 ℓ	ジラム水和剤	4	春期	全木			
忌避剤塗布(散布)	大谷3072に	58.0 ℓ	ジラム水和剤	4	春期	全木			
忌避剤塗布(散布)	大谷3072ほ①	79.0 ℓ	ジラム水和剤	4	春期	全木			
忌避剤塗布(散布)	上小鳥3014～	54.0 ℓ	ジラム水和剤	4	秋期	全木			
忌避剤塗布(散布)	池本山3043る	65.0 ℓ	ジラム水和剤	4	秋期	全木			
忌避剤塗布(散布)	池本山3043わ	48.0 ℓ	ジラム水和剤	4	秋期	全木			
忌避剤塗布(散布)	池本山3046～	40.0 ℓ	ジラム水和剤	4	秋期	全木			
忌避剤塗布(散布)	大谷3065く	37.0 ℓ	ジラム水和剤	4	秋期	全木			
忌避剤塗布(散布)	大谷3065や	17.0 ℓ	ジラム水和剤	4	秋期	全木			
忌避剤塗布(散布)	大谷3069よ	9.0 ℓ	ジラム水和剤	4	秋期	全木			
忌避剤塗布(散布)	大谷3069る①	4.0 ℓ	ジラム水和剤	4	秋期	全木			
忌避剤塗布(散布)	大谷3069た	79.0 ℓ	ジラム水和剤	4	秋期	全木			
忌避剤塗布(散布)	大谷3072に	58.0 ℓ	ジラム水和剤	4	秋期	全木			
忌避剤塗布(散布)	大谷3072ほ①	79.0 ℓ	ジラム水和剤	4	秋期	全木			
計		980.0							

※薬剤散布は、沢筋、崩壊地、崩壊地周囲は無散布とする。

※水和剤＝原液

特記仕様書

上小鳥国有林ほか 森林環境保全整備事業 飛騨7

※延長距離については実距離(斜距離)である。

## 特記仕様書

別紙

特記仕様書

事業内訳書により個別で事業期間が指定されている作業について、下記期日までに監督職員と調整の上部分完了届等を提出すること。

作業種	提出期限	備考
新植地拡、歩道新設、 新植植付(春)、忌避剤散布(春)	令和8年6月30日	部分完了届
下刈	令和8年9月30日	部分完了届
忌避剤散布(秋)	令和8年11月10日	完了届

注1： 作業が完了している場合は可能な限り纏めて部分完了届を提出すること。

注2： 契約内容の変更により事業期間が変更された場合は、変更後の事業期間末日までとする。

## 特記仕様書

### ○国土強靭化関連事業における工事看板の取扱いについて

次のとおり工事看板に国土強靭化対策事業であることを記載し、地域住民等に対して発信することとする。

#### 1 工事看板の記載内容

工事看板に事業内容及び国土強靭化対策事業であることを簡潔に記載する。

##### 記載文章例

健全な森林づくりのため植付を行っています

国土強靭化対策事業

#### 2 留意事項

標準仕様書により設置を義務付けしている看板等とは別に、新規で看板を制作することは不要。これまで設置していた看板等に、文章を追加することとする。